

# 流域で実施している主な事業

## < 直轄河川改修 >

船戸地点の計画高水流量 $12,000\text{m}^3/\text{s}$ を安全に流下させるため、下流部では支川との合流部の改修、中上流部では無堤防部及び狭窄部の解消を進め、紀の川の氾濫による被害を防ぐ。

なお、現在の堤防の整備率は平成11年度末で約76%である。



## < 紀の川大堰 >

- ・堰地点の計画高水流量 $12,000\text{m}^3/\text{s}$ を安全に流下させるため、河道の疎通能力の増大をはかり、紀の川下流域の洪水被害を軽減する。
- ・河川環境の保全等のための流量及び既得用水の取水位を確保する。
- ・大阪府に対し新たな水道用水の取水を可能にする。また、大阪府に対し、別途確保される水道用水の取水を可能とするための取水位を確保する。



紀の川大堰（工事中）を下流より望む  
（平成12年5月4日撮影）



## < 大滝ダム >

- ・ダム地点における計画高水流量 $5,400\text{m}^3/\text{s}$ のうち、 $2,700\text{m}^3/\text{s}$ の洪水調節を行い、洪水被害を軽減する。
- ・ダム下流において、河川環境の保全等のための流量を確保する。
- ・奈良県・和歌山県・和歌山市・橋本市に対して新たな水道用水の取水を可能にする。
- ・和歌山市に対して新たな工業用水の取水を可能にする。
- ・新設される大滝発電所において新たに発電を可能にする。



大滝ダム（工事中）を下流より望む  
（平成12年10月13日撮影）



奈良県川上村

## < 紀伊丹生川ダム >

- ・ダム地点における計画高水流量 $1,500\text{m}^3/\text{s}$ のうち、 $1,380\text{m}^3/\text{s}$ の洪水調節を行い、洪水被害を軽減する。
- ・ダム下流において、河川環境の保全等のための流量を確保する。
- ・大阪府等に対して新たな水道用水の取水を可能にする。

